

阪神国際港湾

大阪港オーブン延長に補助

台風被害の混雑解消促す

【関西】阪神国際港湾会社（HPC）は19日、台風21号の被害を受けた大阪港での港湾物流機能の改善に向けた支援の一環で、ターミナルオペレーターを対象にコンテナターミナルのゲートオー

ブン時間延長に対する補助事業を行うと発表した。ターミナルゲート前の混雑解消と周辺道路への影響を減らすのが狙い。同日から開始し、11月17日まで実施する。対象者は大阪港の外貿

コンテナ貨物を取り扱う埠頭のターミナルオペレーターで、同港のC1、4、C6、12、KF1、KF2が該当する。対象時間・曜日は早朝時間帯が日祝日を除く午前7時半～8時半、昼休み時間

帯は土日祝日を除く午前11時半～午後1時。早朝時間帯と昼休み時間帯にそれぞれINゲート処理を行った搬出入車両1台当たり2500円を助成する。対象車両種別の限定や特定の日、特定の曜日だけのゲートオーブンも対象とする。同日から募集を開始しており、土日を除く25日まで受け付ける。期間は日曜日・祝日を除く11月

17日までで、約1カ月の実施で台風の影響収束を促す。阪神国際港湾会社によると、19日時点ですでに複数から応募があったという。

提案書類は阪神国際港湾の大阪事業本部管理課（大阪市住之江区南港北2-1-10、Os棟南館5階）で受け付ける。問い合わせは同課（電話06・6615・7228）